

五老スカイタワー再生可能エネルギー導入及び
コミュニティFM 中継局設置等調査・基本設計業務 報告書
に対するコメント

I. H30.12.27 第 3 回打合せ記録簿の(2)の 2 項、

中継局の新設箇所は、「旧岡田中小学校」「空山局(京都府防災無線局)」「上根公民館」の方針とする。

とあるが、特に「旧岡田中小学校」については、合意したとは考えていない。既設送信所経由の VHF 無線 STL が可能な「岡田由里テレビ送信所」をさらに検討する必要があると考える。

II. H31.1.16 第一回(近畿経済産業局との)打合せ記録簿の確認事項の2つ目

コミュニティFMの中継局の予定箇所は、空山(京都府防災)・旧岡田中小学校・上根公民館の3箇所であることを説明し、資源エネルギー環境部の了承を得た。

となっているが、前項コメントの観点から、あくまでも「予定箇所」であることを確認してもらいたい。

III. コミュニティFMの難聴地域解消に向けた調査及び再生エネルギー導入調査

● 3-23 ページ 写真中段、旧岡田中小学校 防災無線柱(FM ラジオ用アンテナ設置予定箇所)とあるが、防災無線の受信周波数とFM送信用の周波数、両アンテナの間隔など、FM送信波→防災無線受信波の干渉を十分に検討する必要有り。五老ヶ岳送信所建設前に、スカイタワー屋上にFM送信アンテナを設置する案があったが、防災無線への干渉の恐れがあったので、結局見送った経緯有り。

● 3-24~27 ページ、岡田由里送信所(au)(NHK)のアプローチ道等、実際の保守者による現地調査を希望する。

● 3-40 ページの電界強度測定結果表の(dBf)の値に疑義有り。低すぎる。受信「メリット」は多分 ML524B のモニターレシーバー機能を使ってイヤホンモニターしたと思われるが、48dB μ V/m (0.25mV/m)ないのにメリット 5 というのはおかしい。例えば、旧青井小学校付近では 31dB μ V/m となっているがメリット 5。この付近の海岸からは海を隔てて五老ヶ岳が見える場所であるのに。ちなみに開局前の登録点検で、さらに北にある白杉地区の海岸で 65.6 dB μ /m を得ている。

【気付いた点】

・表の dBf 値は dBo 値から一律 20dB も低い値となっている。換算の計算間違い？
ちなみに ML524B のアンテナ入力端子は 50 Ω 終端だが、メータ表示は emf(+6dB は換算されて表示される)

・3-38 ページのアンテナ高が 4.5m となっているが、規定では 4m では？

● 3-65 ページで、旧岡田中小学校が◎となっているが、岡田由里テレビ層送信所も以下の観点から有力な選択肢になるのではないかと考える。

a) 五老スカイタワーと見通しがあり、西市民プラザ→五老→岡田由里テレビ送信所のルートで VHF

①

STLを構築可能(西市民プラザ→五老→空山のルートも可能、章末資料 3-2-1, 3-2-10, 3-2-13 参照)東・西部の中継局は STLは無線を本線とし、VPNを引いてもいいが予備としたい。

1
2

- b) 他案と比べると難聴地域の改善効果が最も高い
 - c) 既設送信波への干渉(由良川の東側)については空中線電力(1W)の低減や空中線形式の選択・方向などで最小化できる可能性あり。
 - d) 車道が整備されていないとのことであるが、FMいかるの中継局の1つも当該局までは車でいけず、徒歩でアクセスする場所にある(市役所の費用で徒歩道路を整備)。先に述べたが、実際の保守者によるアクセス調査を希望する。
- 3-66 ページ(空山局)、3-67 ページ(舞鶴市南部)の中継局選定については、資料どおりでよい。

以上